

MA021061

重複障害児指導論

Teaching Theory for Children with Severe Multiple Disabilities

昼間クラス

担当教員 石倉 健二

単位数 2

単位区分 選択, 選必

開講学期 後期

開講曜日時限 木曜日5時限

授業方法 講

標準履修年次 1年

備考

【授業の目標及び期待される学習効果(授業のテーマ及び目標)】

以下のことを授業の目標とする。

- ①重度・重複障害児の基本的な状態像について理解する。
- ②重度・重複障害児の指導として必要な事柄について理解する。

【授業の内容・計画】

本授業は講義を中心とするが、一部に実技も取り入れる。授業中に改めて指示するが、身体を動かしやすい服装の準備が必要になることがある。

- 《第1週》 授業オリエンテーション、重度・重複障害児の概念
- 《第2週》 生理・病理・心理①：重度・重複障害の特性と健康管理
- 《第3週》 生理・病理・心理②：重度・重複障害児における二次障害と行動障害
- 《第4週》 生理・病理・心理③：盲ろう重複障害
- 《第5週》 重度・重複障害児への指導法①：身体の動き 1（姿勢づくり①）
- 《第6週》 重度・重複障害児への指導法②：身体の動き 2（姿勢づくり②）
- 《第7週》 重度・重複障害児への指導法③：コミュニケーション、人間関係の形成、心理的安定
- 《第8週》 重度・重複障害児への指導法④：動作法実習
- 《第9週》 重度・重複障害児への指導法⑤：環境の把握（感覚・知覚・認知）
- 《第10週》 重度・重複障害児への指導法⑥：コミュニケーションエイドと各種支援機器
- 《第11週》 重度・重複障害児への指導法⑦：健康の保持（食事と摂食指導）
- 《第12週》 重度・重複障害児への指導法⑧：健康の保持（呼吸と排泄）
- 《第13週》 生理・病理・心理④：家族と関係者のQOL
- 《第14週》 教育課程①：重度・重複障害児のアセスメント（実態把握）
- 《第15週》 教育課程②：重度・重複障害児の教育課程と自立活動

【成績評価の方法・基準等】

レポート（評価割合85%）、出席状況（評価割合15%）で評価する。

【テキスト・教材・参考書等】

テキストは使用せず、講義資料を毎回配布する。
必要に応じて参考書を紹介する。

【事前事後学修】

毎回、6～8頁の資料を配布する。それをファイルし、授業後に復習をすること。

【その他】